

見るもの

聞くもの

すべて新鮮

## 夏休み

# 中学生海外派遣報告

今年も、夏休みを利用して町内の中学二年生3名が海外に派遣され、語学研修、歴史・地理の学習、現地青少年との交流など研修と友好親善に努めてきました。

松前中学校の鷺山尋香さんは、ドイツのフライブルクとイギリスのロンドン近郊で7月29日(月)～8月10日(土)の13日間、北伊予中学校の益田有里予さんと岡田中学校の西山芽美さんは、アメリカのサクラメント近郊で7月27日(土)～8月10日(土)の15日間、それぞれ自然、歴史、文化に触れながら語学力の向上と相互理解を深めました。そのときの素晴らしい体験を紹介します。

## Wishing to go again

松前中学校  
鷺山尋香

期待と不安を胸に12時間あまりの空の旅。ついたそこは、もちろん初めての街、ドイツ、フライブルク市。最も楽しみにしていたホームステイは、2日目から始まりました。Betさんが私のホームステイ先。そこはフライブルク郊外のとても美しい場所でした。ドイツ語が話せない私は、身ぶり手ぶりの会話に苦労しましたが、ホストマザーの手作りの料理は、日本人に合うとてもおいしいものでした。食事がこんなにも楽しいものだということを知ったような気がします。

次の目的地はイギリスのオックスフォード。そこでは7人家族の家にホームステイすることになりました。私のほかにも中国人が5名。13人が一つ屋根の下で生活する経験も初めてのことです。昼間は英会話に通うことになっていたので、あまりコミュニケーションをする機会がなかったのが残念でした。それでも私のつたない英語を一生懸命理解しようとし

てくださったので、私もはつきりと自分の意思を伝えるよう努力しました。

オックスフォードの街で一番印象に残っているのは「Christ Church」読書が好きで私は、「不思議の国のアリス」の著者がそこで教師として働いていたと聞いただけでわくわくしてきました。また、ハリポッターの映画が撮影されたところでもあり、毎日がまるで夢の世界にでもいるような気分になりました。

私は将来英語をいかせる職業に就きたいと、ずっと以前から考えていました。今回の経験は、その第一歩であり、予想していた以上に貴重なものになりました。こういう機会を与えてくださったすべての人に対して、感謝の気持ちを忘れずに生活していこうと思います。

And I'm wishing to go again.



▲ドイツのホストファミリーといっしょに